

(件名) 嘉徳海岸におけるウミガメの産卵に適した砂浜の維持について

(陳情の要旨)

奄美大島ではウミガメの産卵時期に入り、嘉徳海岸では5月3日の早朝にアオウミガメが上陸した足跡が発見され、21日にはアカウミガメの足跡が発見されました。

北太平洋に生息しているアカウミガメの産卵地は日本だけであり、太平洋におけるアオウミガメの産卵地としては北限となっています。嘉徳海岸は陸と川と海の連続性が保たれた生物にとって健全な砂浜です。2002年には生きた化石と言われるオサガメが日本で唯一産卵した記録があります。オサガメは海に生息する世界最大級の爬虫類です。日本は産卵地として重要であり、広い砂浜を有する人工構造物のない嘉徳海岸は、日本でも非常に重要な産卵地です。また、陸と川と海の連続性が保たれた嘉徳川と嘉徳海岸は国際自然保護連合（IUCN）に高く評価され、世界自然遺産の緩衝地帯となりました。嘉徳一帯は生物多様性が評価された世界に誇れる日本の宝です。

ウミガメは上陸しても光や騒音に反応したり、人工構造物に阻まれ産卵せずに海に戻ってしまうことがあり、産卵場所の減少はウミガメの減少の原因になります。

現在、嘉徳海岸では護岸工事の準備が進められており、工事区域内立入禁止と書かれたビニール製のチラシとロープが海岸のほぼ全域に張られています。植生帯にはオカヤドカリの進入防止のための柵が設置されており、これらはウミガメが適切な産卵場所に辿り着けず、産卵の妨げになります。産卵に適した砂浜を維持するためにも、ウミガメの産卵時期は工事を中断し、ロープや杭や柵などの撤去を実施していただきたいです。

鹿児島県はウミガメの上陸産卵日本一です。海岸を生息・生育や産卵の場とする生物が、その生息環境を脅かされることのないよう、自然環境の保全に配慮し、海岸環境に支障を及ぼす行為をできるだけ回避し、ウミガメ保護条例に基づいた保護対策をお願い致します。また、嘉徳海岸では産卵に適した砂浜を維持するために自主的に海岸清掃に取り組む人々がいます。しかし、大型のゴミの処分に困っている現状があることから県とボランティアで協力して解決していきたいと考えております。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

1. ウミガメの産卵時期において工事の中断を要望します。
2. 上陸産卵の妨げになるロープや杭や柵の撤去を要望します。
3. 産卵に適した砂浜を維持するために行っている海岸清掃で集めた漂着物の回収、または回収ボックスの設置などの対策を要望します。

(添付書類省略)